

Title	地域金融機関の持続的競争優位の構築
Sub Title	
Author	明石, さつき (Akashi, Satsuki) 鈴木, 貞彦
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2003
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2003年度経営学 第1835号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002003-1835">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002003-1835</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 論文要旨

所属ゼミ	鈴木研究会	学籍番号	80228034	氏名	明石 さつき
(論文題名)					
地域金融機関の持続的競争優位の構築					
(内容の要旨)					
<p>近年、地域金融機関の個人事業主や中小企業向け貸出が減少している。これまで地域金融機関は、既存地域内の個人事業主や中小企業への貸出で収益を上げてきたが、現在は収益を上げることができない状況にある。今後、地域金融機関は何により収益を確保していくのだろうか。</p> <p>この問題意識に基づき、本論文では、金融自由化、不良債権問題などにより厳しい経営状態に置かれている日本の地域金融機関に対し、既存地域内の個人事業主や中小企業との取引で持続的競争優位を構築し、それを維持していく方法を提言する。</p> <p>金融機関は、個人事業主や中小企業への貸出において、債務不履行が発生すると当初予想した期待収益を上げることができない。そのため、これまでは担保や保証を取り付け、貸出を行ってきた。しかし、この方法では担保が不足したり、保証が受けられない企業は貸出が受けられないことになる。この問題を回避するため、「リレーションシップバンキング」が注目されている。</p> <p>リレーションシップバンキングに関する先行研究と実証研究により、リレーションシップに基づく貸出には、貸出先企業の債務不履行リスクを抑え、金融機関の期待収益を高める効果があることが明らかになった。このため、地域金融機関が既存地域内の個人事業主や中小企業との取引で収益性を高めるためには、リレーションシップに基づく貸出を強化することが有益であると考えられる。そして、貸出先企業のキャッシュフローに関する定量データとともに定性情報を収集し、貸出先企業のキャッシュフローの確率分布をより正確に描くこと、さらに描いたキャッシュフローの確率分布をもとに貸出先企業に業績変動を小さくしたり、営業利益の期待値を高めるための助言を行っていくことが、地域金融機関の持続的競争優位につながると考えられる。</p>					